

菌類

大阪府内で記録のある大型菌類のうち、1) 近年の発生量が少なく、環境面で懸念の強いもの 2) 全国的にも発生例が希少であり、発生環境が脆弱なもの 3) まだみられるが減少傾向の懸念されるものを重視して選定した。大阪府内の菌類相は今だ解明の途上であり、断片的な情報で選定したものである。今後、情報が明らかになるにつれ、選定種は大きく入れ替わる可能性がある。

リストは大阪府内で続くアカマツ林の減少、他府県と比べて貧弱なシイ・カシ林、モミ林などの状況を反映している。学名及び分類は日本産菌類集覧（勝本2009）によっている。

ランク	和名	科名	上位分類群	学名	改訂前カテゴリー
絶滅 (EX)					
	該当なし				
絶滅危惧 I 類 (CR+EN)					
○	テッポウムシタケ	バツカクキン科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Cordyceps nikkoensis</i>	—
○	ウスキタンボセミタケ	バツカクキン科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Cordyceps pleuricapitata</i>	—
○	ウメムラセミタケ	オフィオコルディセブス科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Elaphocordyceps paradoxa</i>	—
○	タヌキノベニエフデ	スッポンタケ科	担子菌門スッポンタケ目	<i>Mutinus elegans</i>	—
○	アカダマノオオタイマツ	スッポンタケ科	担子菌門スッポンタケ目	<i>Phallus rubicundus</i>	—
絶滅危惧 II 類 (VU)					
○	エツキクロコップタケ	クロチャワンタケ科	子囊菌門チャワンタケ目	<i>Urnula craterium</i>	—
○	クラガタノボリリュウ	ノボリリュウ科	子囊菌門チャワンタケ目	<i>Helvella ephippium</i>	—
○	シャグマアミガサタケ	フクロシトネタケ科	子囊菌門チャワンタケ目	<i>Gyromitra esculenta</i>	—
○	セミタケ	オフィオコルディセブス科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Ophiocordyceps sobolifera</i>	—
○	ソライロタケ	イッポンシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Entoloma virescens</i>	—
○	カブラマツタケ	カブラマツタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Squamanita umbonata</i>	—
○	ホンシメジ	キシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Lyophyllum shimeji</i>	—
○	ヤケノシメジ	キシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tephroclype anthracophila</i>	—
○	シモコシ	キシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tricholoma auratum</i>	—
○	マツタケ	キシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tricholoma matsutake</i>	—
○	スナジホウライタケ	ツキヨタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Marasmiellus mesosporus</i>	—
○	ヤケノヒトヨタケ	ナヨタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Coprinellus angulatus</i>	—
○	ナガエノホコリタケ	ハラタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tulostoma fimbriatum</i> var. <i>campestre</i>	—
○	コウモリタケ	ニンギョウタケモドキ科	担子菌門ベニタケ目	<i>Albatrellus lithophylloides</i>	—
○	ルリハツタケ	ベニタケ科	担子菌門ベニタケ目	<i>Lactarius subindigo</i>	—
○	イロガワリヤマイグチ	イグチ科	担子菌門イグチ目	<i>Leccinum intusrubens</i>	—
○	キンチャヤマイグチ	イグチ科	担子菌門イグチ目	<i>Leccinum versipelle</i>	—
○	ショウロ	ショウロ科	担子菌門イグチ目	<i>Rhizopogon roseolus</i>	—
○	イカタケ	アカカゴタケ科	担子菌門スッポンタケ目	<i>Aseroe arachnoidea</i>	—
○	アカイカタケ	アカカゴタケ科	担子菌門スッポンタケ目	<i>Aseroe rubra</i>	—
○	カゴタケ	アカカゴタケ科	担子菌門スッポンタケ目	<i>Ileodictyon gracile</i>	—
○	タマチヨレイタケ	タマチヨレイタケ科	担子菌門タマチヨレイタケ目	<i>Polyporus tuberaster</i>	—
準絶滅危惧 (NT)					
○	クサナギヒメタンボタケ	バツカクキン科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Metacordyceps kusanagiensis</i>	—
○	マルミノアリタケ	オフィオコルディセブス科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Ophiocordyceps formicarum</i>	—
○	ミヅサタケ	ベニチャワンタケ科	子囊菌門チャワンタケ目	<i>Wynnea gigantea</i>	—
○	マツカサチャワンタケ	キンカクキン科	子囊菌門ビョウタケ目	<i>Ciboria rufofusca</i>	—
○	ツチダンゴ	ツチダンゴキン科	子囊菌門ユーロチウム目	<i>Elaphomyces granulatus</i>	—
○	ブナノホソツクシタケ	クロサイワイタケ科	子囊菌門クロサイワイタケ目	<i>Xylaria carpophila</i>	—
○	ヒメフクロタケ	ウラベニガサ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Volvariella pusilla</i>	—
○	キシノウゲンジ	オキナタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Descolea flavoannulata</i>	—
○	ツキヨタケ	ツキヨタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Omphalotus japonicus</i>	—
○	カブラテングタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita gymnopus</i>	—
○	コトヒラシロテングタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita kotohiraensis</i>	—
○	チャオニテングタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita sculpta</i>	—
○	チャタマゴタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita similis</i>	—
○	シロツルタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita vaginata</i>	—
○	スジチャダイゴケ	ハラタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Cyathus striatus</i>	—
○	ケシボウズタケ	ハラタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tulostoma brumale</i>	—
○	ウスキブナノミタケ	ラッシタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Mycena luteopallens</i>	—
○	アカモミタケ	ベニタケ科	担子菌門ベニタケ目	<i>Lactarius laeticolor</i>	—
○	ハツタケ	ベニタケ科	担子菌門ベニタケ目	<i>Lactarius lividatus</i>	—

ランク	和名	科名	上位分類群	学名	改訂前カテゴリー
準絶滅危惧(NT)(つづき)					
○	ウスタケ	ラッパタケ科	担子菌門ラッパタケ目	<i>Turbinellus floccosus</i>	—
○	ケロウジ	マツバハリタケ科	担子菌門イボタケ目	<i>Sarcodon scabrosus</i>	—
○	オオヤシャイグチ	イグチ科	担子菌門イグチ目	<i>Austroboletus subvirens</i>	—
○	アオゾメクロツブタケ	イグチ科	担子菌門イグチ目	<i>Rossbeevera eucyanea</i>	—
○	ホオベニシロアシイグチ	イグチ科	担子菌門イグチ目	<i>Tylopilus valens</i>	—
情報不足(DD)					
○	クモタケ	バツカクキン科	子囊菌門ニクザキン目	<i>Nomuraea atypicola</i>	—
○	キノオオフクロタケ	ウラベニガサ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Volvariella bombycina</i>	—
○	バカマツタケ	キシメジ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Tricholoma bakamatsutake</i>	—
○	マツカサシメジ	タマバリタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Strobilurus tenacellus</i>	—
○	ニオイドクツルタケ	テングタケ科	担子菌門ハラタケ目	<i>Amanita oberwinklerana</i>	—
○	サザレイシタケ	ヒメノガステル科	担子菌門ハラタケ目	<i>Hymenogaster pacificus</i>	—
○	マツカサタケ	マツカサタケ科	担子菌門ベニタケ目	<i>Auriscalpium vulgare</i>	—
○	ホンショウロ	ショウロ科	担子菌門イグチ目	<i>Rhizopogon obtextus</i>	—
○	マツバハリタケ	マツバハリタケ科	担子菌門イボタケ目	<i>Bankera fuligineoalba</i>	—

【凡例】 ↑:アップリスト種 ↓:ダウンリスト種 ○:新規掲載された種 ◇:DD及び要注目から変更された種 ◆:DDへ変更された種